

○早春の遠野

雪が溶け、地面にはわずかに青草が生え始めました。放牧地のまわりには「バツケ」も見られます。日ごとに景色に彩りが加わり、春の息吹を感じる季節です。乗用馬生産組合長・佐々木盛友さんの牧場(セイウファーム)の様子です。



フリーロンドンⅡ（競技名：ヴァイスグランツ）も母になる日を待つ

○セイウファーム

セイウファームでは出産をひかえた母馬3頭が過ごしています。おなかが大きく重そうなので静かにしていることが多いですが、時々駆け回る姿も見られます。お産前は適度な運動が必要のようです。



元気に駆け回るロンジェ（競技名同じ）と1歳になった子馬



どっしり構えるベテラン母のエルマクイーン



夕方、馬を厩舎に連れ帰る佐々木盛友組合長



ポニーの茶々(牝)



ポニーの一太郎(牡)



春を告げるバツケ(ふきのとう)



セイウファームの目印

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.77

2023年4月1日